

すべては君の 「知りたい」から はじまる



- 普通科 General Academic Course
- 人間探究科 Academic Inquiry on Culture
- 自然探究科 Academic Inquiry on Science

すべては君の「知りたい」からはじまる

La Gaya Scienza

疑問が発見を生み、一つの発見が新たな発見を呼び、
それらが集積されて知識となり、知識の体系が知恵に結晶する。
ひたむきに繰り返されてきた未知の扉を開こうとする人間の営み。
人類は「知る」ことによって生きてきた。



地球に誕生した直立歩行するヒト—火を用い、道具をつくり、
言葉を使うことによって、ヒトは今まで生きてきました。

身近な動植物の採取から始まり、狩猟、農耕、気象、天文、芸術、宗教、法律、
経済、科学技術……人間を知り、自然を知ることによって築き上げられてきた歴史の
延長線上に、現在、わたしたちが立っています。

学ぶことの厳しさを通して得られる喜びは、闇を恐れたヒトが火を得た時にも、
収穫に胸ふるえた時にも、思索を言葉に表せた時にも、文字を発明した時にも、
蒸気を操ることができた時にも、病気の人の頬に笑顔が回復した時にも、
そして宇宙から地球を見た時にも、そこにいた人たちが体中で感じた喜びに
通じるものではないでしょうか。

21世紀を目の前にして、人類はさまざまな課題を抱えています。

それらに取り組み乗り越えることが、過去から、そして未来から、わたしたちに
与えられた使命です。

すべては君の「知りたい」からはじまります。

1999年4月1日

「ラ・ゲヤ・スキエンツァ」とは、12世紀の吟遊詩人たちが自分たちの詩を創作する技法として名付けたものです。
彼らは、草原や森や道ばたで、木々や風や光を知り、そこから何かを発見したり感じたりして歌いました。
私たちは、「知ることは楽しい」という意味で、学ぶことを「楽しい知識 La Gaya Scienza」と呼んでいます。

自立する18歳を育む

Global Interdependence

豊かな学校の構築

堀川高等学校では、校訓「立志・勉勵・自主・友愛」に基づいて「自立する18歳」の育成を図るため、「豊かな学校」を構築することを最高目標としています。

「豊かな学校」とは、言葉を大切にできる学校、言葉を通い合わせることでできる学校、考えるあたまと感じるこころを育てる学校、さまざまな経験を重ねることのできる学校を意味します。そこで学ぶことによって、想像力と創造力に富み、判断力と行動力を備えた「自立する18歳」が生まれます。

堀川高校は、社会生活を営む上で必要な教養を培う場です。生徒一人ひとりが、社会で他者とどのように関わって生きていくのかを自らに問いながら、人文社会、自然科学や芸術に関する教養を身につけるために学んでいます。健康で安全な生活を営むための基礎体力の維持・向上、主体性・社会性・協調性を備えた自己管理能力の伸長、自他の存在と生命を尊重する人権意識の深化を図り、自己実現を目指します。そのために、生徒自身に内在する意志と意思、そして能力を引き出す教育を目標としています。

堀川高校は、生徒が自らの可能性を見出し高めることのできる多様な機会を提供し、個々の取組をさまざまな角度から支援します。そのために、各教科・科目及び総合的な学習の時間の充実と生徒の自主活動の活性化を図るとともに、生徒の進路希望の実現に必要な能力開発と情報提供に関する研究と実践に取り組んでいます。

すべての生徒に、学ぶ厳しさと楽しさを経験してほしいと願っています。一人ひとりが自立する18歳になるために。

立志・勉勵・自主・友愛

立志 自らの可能性を信じ、開拓し、目標を高く掲げ、その実現に向かって取り組む。

勉勵 謙虚であることと懸命に努力を重ねることの大切さを知り、困難に立ち向かう姿勢を培う。

自主 自らを見つめ、じっくり考え、適切な判断力と健全な批判力を養い、責任をもって行動する。

友愛 自分のまわりの人やものを大切にするとともに、想像力を高め、他者を思いやる。

■ 普通科 General Academic Course

基礎・基本を踏まえて高度な活用能力を身につけるとともに、探究能力を伸ばし幅広い教養を身につける学科です。人間の文化・社会および科学・技術について広く深い健全な批判力を養い、文化・社会および科学・技術の発展に寄与する態度を養います。2年次以降は、自分の進路に応じて人文探究コース・理数探究コースのいずれかを選びます。卒業時には探究科に比肩する力を養います。



■ 人間探究科 Academic Inquiry on Culture

人文系統の学習を深め、人間の文化や社会・行動などについて探究する能力と態度を養う専門学科です。人文科学・社会科学系(文学・哲学・心理学・教育学・社会学・法学・政治学他)の専門研究につながる学習を進めます。



■ 自然探究科 Academic Inquiry on Science

理数系統の学習を深め、自然の現象や原理・法則などについて探究する能力と態度を養う専門学科です。自然科学系(数学・物理学・化学・生物学・医学・薬学・農学・工学・情報学・環境学他)の専門研究につながる学習を進めます。



2本の柱で、主体的活動を支える

文部科学省 SSH, SGH研究指定

堀川高校は、文部科学省より2つの研究指定を受けています。それぞれの研究の理念に基づいた取組により、生徒の主体的な活動を支援します。



Super Global High School

— 研究成果で社会に貢献する —

堀川高校は2014年3月、文部科学省よりスーパーグローバルハイスクール (SGH) の指定を受けました (全国56校) (指定期間は5年間〔平成26年度～30年度〕)。

SGHは、大学、企業、国際機関等と連携を図り、グローバルな社会課題を発見・解決できる人材や、グローバルなビジネスで活躍できる人材育成の研究開発の関心と深い教養、コミュニケーション能力、問題解決能力等の素養を身に付け、将来国際的に活躍できるグローバル・リーダーを育成することが目的とされています。

本校では、グローバル・リーダーに必要な素質は受容力・発想力・知的耐力・交渉力であると考え、『しなやかさ』と『したたかさ』を備えた青年の育成をめざし、従来の教科・科目の充実・発展をはじめ、世界を舞台にチャレンジする機会の提供など、さまざまな取組を推進します。

探究基礎

堀川高校の探究活動では、成果そのものよりも多くの経験を積むことを重視しています。また、研究に必須となる「言語能力」を伸ばすため、生徒間および生徒と指導者の双方向のコミュニケーションを重視しています。

「探究基礎」の授業の特徴の一つとして、生徒によって構成される探究基礎委員会の存在があります。探究基礎委員が中心となって授業を運営し、生徒一人ひとりが授業に主体的に取り組むためのさまざまな発案をし、実行していきます。

海外研修

海外研修において、学校が用意するのは「飛行機」と「宿泊場所」と「安全の半分」です。残りの「安全の半分」と「研修内容」は生徒に委ねられており、活動内容の具体化やその事前準備は、生徒によって構成される海外研修委員会を中心に行われます。生徒の主体性と企画運営能力、さらに自己管理能力を育てます。

リーダー・スタッフ活動等

生徒が主となり作り上げる学校説明会のリーダー・スタッフ活動、中学生に探究活動の体験を促進する「探究道場」のスタッフ活動など、目的を共有する集団の一員として運営に直接かかわることで、社会性・協調性を育成します。また、祇園祭の山鉾巡行のお手伝いをする「町へ出ようプロジェクト」や、海外からの教育関係者や高校生の訪問に際しての国際交流など、さまざまな体験の場を提供し、生徒の成長を支援します。

Super Science High School

— 研究を通じて論理的思考力と言語能力を養う —

堀川高校は2002年、スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 事業の第1期指定校として、3年間の研究指定を受けました。SSHとは理数系教育の研究・実践を重点的に行う研究指定校です。引き続き2005年、2010年、今年度に5年間の研究指定を受け、4期連続でSSH研究指定を継続しています。

堀川高校では総合的な学習の時間で取り組む探究活動をベースにしなが、科学的探究能力を伸ばすための効果的な教育法を研究してきました。ここで得られた教育研究の成果は、探究科から普通科へ、また理数系生徒のみならず、文系の生徒にも対象を広げ、堀川高校全体に還元されています。

名誉学術顧問 (50音順・敬称略)

井村 裕夫 公益財団法人先端医療振興財団理事長 元京都大学総長
佐藤 禎一 国際医療福祉大学大学院教授 学事顧問
元文部事務次官
元ユネスコ日本政府代表部特命全権大使

学術顧問 (50音順・敬称略)

秋山 仁 東京理科大学教授 理数教育研究センター長
西岡 康夫 特定非営利活動法人教育システム研究所理事
茂木健一郎 ソニーコンピュータサイエンス研究所シニアリサーチャー

SGH運営指導委員 (50音順・敬称略)

後藤 典生 高台寺執事長「VISIT JAPAN 大使」(観光庁)
「京都おもてなし観光大使」(京都市)
佐藤 禎一 国際医療福祉大学大学院教授 学事顧問
元文部事務次官
元ユネスコ日本政府代表部特命全権大使
竹内 美恵 株式会社資生堂 国際マーケティング部 美容企画室
BC企画グループリーダー課長
中山かほる 株式会社堀場製作所 科学・半導体事業戦略室マネージャー
西岡加名恵 京都大学大学院教育学研究科准教授
早川 信夫 NHK解説委員(教育・文化担当)
平井 義久 株式会社西利代表取締役会長
平田オリザ 劇作家 演出家
東京藝術大学社会連携センター特任教授



SSH運営指導委員・学術顧問 (50音順・敬称略)

稲盛 豊実 公益財団法人稲盛財団専務理事
大野 照文 京都大学総合博物館教授
塩瀬 隆之 京都大学総合博物館准教授
高須 秀視 ローム株式会社チーフアドバイザー、技術顧問
堀場 厚 株式会社堀場製作所代表取締役会長兼社長
山折 哲雄 元国際日本文化研究センター所長

新しい知識を得る方法を学ぶ

探究基礎

探究とは、用意された答えがない「問い」に対して、正しいと思える「答え」を導き出す営みです。「問い」をたてる対象には、人間社会・文化・芸術・宇宙・自然・物質・生命、またそれらに対する我々の考え方そのものなど、さまざまなものがあります。これらに関する「問い」に対して、自分自身で「答え」を導き出すためには、まず自分が何を知りたいのかを具体化し、それに関連する既に分かっていることを知る必要があります。その上で、新たにさまざまな事実を収集した上で、それらを筋道立てて組み合わせる必要があります。また、そうして得られた「答え」が正しいと言えるかどうかは、ひとつひとつの根拠の確かからしさや筋道の立て方を多くの人と共に吟味することでしかわかりません。

つまり、探究をするためには、「問い」を具体化するやり方・既にわかっていることの調べ方・事実の収集と記述の仕方・筋道の立て方、そして得られた「答え」が正しいかを確認する方法などを知る必要があるのです。これらの探究の作法を学ぶための授業が「探究基礎」です。

なぜ探究の作法を学ぶのでしょうか？ ひとつめの理由は、探究の作法の多くは、将来の仕事においても必要になることだからです。例えば、仕事をする上では、理想や理念などの抽象的な目標を具体的な目標にしますが、これは探究活動において「問い」を具体化することに似ています。また、仕事の過程では、目標の達成に近づいているかを多くの人とコミュニケーションをとりながら確認することが必要になりますが、それは探究の成果が正しいかどうかを多くの人と共に吟味することに相当します。このように、仕事の進め方と探究の進め方には共通することが多くあります。よって、仕事をする上で探究基礎で学んだ探究の作法はおおいに役立つことでしょう。

もうひとつの理由は、探究の作法が人類全体にかかわる問題を扱うときに役立つからです。現在、グローバル化の急激な進行、科学の進歩やそれに伴う技術・医療の進展、人類が扱える情報量の急激な増大が生じており、それらにともない社会的な問題が生じているといわれています。これらの問題は複雑で、とても手に負えないものという印象を受けてしまいます。しかし、このような問題であっても、探究の作法を用いることで、なんとかその問題について考えを進めることができます。例えば、複雑な問題をいくつかに分けて考えるなどのやり方がそのひとつです。また、問題の解決に向けて考えるのではなく、問題そのものについて考えるというやり方もとることができます。現在問題とされていることが、そもそもなぜ問題となるのか？ 本当にそれが問題なのか？ それを解決することの意義は何なのか？ といった「問い」を持つことによって、問題とされていることに対する新たな視点や考え方を得ることができます。

探究の作法を身につけることで、問題を具体化して解決し、問題そのものも深く考えることができるようになる、それは、自分自身、あるいは人類の未来にとって重要なことなのです。

14期生 探究基礎委員

自然探究科 テニス部
京都大学 工学部 物理工学科
木津川市立木津第二中学校出身

「堀川高校には何もない。今ある堀川高校は過去の先輩がつくったものであって、先輩たちのものである。みなさんが過ごす堀川高校での3年間はみなさん自身がつくるものなのだ。」

入学前の合格者登校日に当時の校長先生から耳にした言葉です。「自分の手で“つくる”こと、どうしたらそれができるのだろうか？」一ひとつの授業を運営すること、海外から訪問する高校生を迎えること、人をまとめて仕事を行うこと、こういった探究基礎委員としての活動を通じてこの言葉と向き合ってきました。もちろん仕事が大変だとも思いましたが、他の人と協力して仕事することに苦労したこともありましたが、けれどもその苦労を乗り越えて得たものは自分にとって価値があるもの、自分の手で“つくった”経験となりました。

堀川高校は、何かを行いたいと考えている人にそれを実現する機会が与えられている学校です。入学されるみなさんが、自分の手で3年間を“つくる”堀川高校生であってほしいと思います。

1年前期 HOP

探究の「型」を学ぶ。

この期間では、どの分野を探究する上でも必要となる探究の進め方や、表現の仕方を学ぶことを目標としています。探究活動の進め方や論文の形式・書き方を学んだ後、論文作成の実習を行います。

1年後期 STEP

探究の「術」を身につける。

この期間では、実際に探究する上で必要となる課題解決能力の育成を目標としています。ある疑問に対して答えを出す方法は、専門分野ごとに異なります。そこで、少人数講座（ゼミ）に分かれ、分野に固有の研究手法を学びます。

2年前期 JUMP

探究の「道」を知る。

この期間では、論文作成に向け、HOP・STEPでの学習内容を踏まえ、実際に探究活動を行います。ゼミ内やゼミを超えてポスターなどを用いて発表を行い、同級生・TA (Teaching Assistant)・教員よりアドバイスや批判を受けます。それを反映して研究を進め、それらの内容をふまえて論文を作成します。

堀川高校では探究活動を進める上での心得を「探究五箇条」としています。

一、知らないということを知れ



まず、「知らないということを知れ」とは、「自分ではわかっているつもりのものであっても、実はよくわかっていないことがある、ということを知覚しろ」ということです。「よくわかっていないことを、わかったつもりになる」ということは、人間だれもおちいりやすい状況です。人がそういう状況におちいりやすい、ということをもまずは理解し、自分がそういう状況になっていないかを意識しておく必要があります。そうすることで、人が見逃していたことにも気づくことができるのです。

一、常識を学べ

「常識を学べ」とは、世間の一般常識だけでなく、先人たちが明らかにしてきた事実や法則といった教科書にある標準的な考えを学べということです。自分が知りたい、と思ったことを一から丹念に調べ上げては、複雑な世界や自然の全容はなかなか把握することができません。探究は自分自身のためのものであると同時に、人類全体の共同作業です。先人たちが、いろいろ研究した成果を踏まえることによって、今、自分が研究するとき新たなことをみいだせる可能性が高まります。このことをアイザック・ニュートンは「巨人の肩の上にいる」と表現しました。



一、常識を疑え



「常識を疑え」とは、すでに学んだ「常識」が、本当に正しいかどうかを必要に応じて疑ってみよ、ということです。探究活動は、疑問からスタートしますが、その疑問は自分がまだよく知らないことのみから生ずるのではなく、既に学んでいる「常識」からも生じうるのです。たとえば、ある機会に学んだことと、別の機会に学んだことが実は矛盾していた、ということがよくあります。そのような時、少なくともどちらかひとつは誤っているはずだと疑い、矛盾を解消するような考え方を提示したり、その誤りの原因を明らかにしていくことは、立派な探究活動になり得ます。

一、手と頭を動かせ

「手と頭を動かせ」にはふたつの意味が込められています。ひとつには、頭でいろいろ考えるだけでなく実際にやってみることで、手を動かす前に綿密に計画を立てることの両方がともに重要である、ということです。そして、もうひとつは手を動かすことでさまざまな事実を集め、一般的な法則を見つけ出す「帰納」というプロセスと、一般的な法則を用いて論理的に推論する「演繹」というプロセスを経よ、ということです。



一、朋と愉しめ



「朋と愉しめ」にもふたつの意味があります。ひとつには、探究の成果を多くの方が納得できるようにして示し、その上で批判的に検討してもらうことで、より正しいことに近づく「答え」が得られるということです。そして、もうひとつは、新たなことを知る、ということはとても楽しいことであるのだから、探究することによって自分が発見したことは、みんなに知ってもらうようにせよ、ということです。

堀川で高校生活を楽しむ

学校行事

場と状況を把握して行動する——堀川高校生のモットーです。

生徒諸君への三つの約束～言葉の通じる世界をつくれ～

1. 学校は学びの場である。
君たちは学ぶ者としての謙虚さを持って。学校は君たちに、多様な学ぶ機会を提供する。
2. 学校は小さな社会である。
君たちは自覚と責任を持って。学校は君たちを、大きな子どもではなく小さなおとなとして尊重する。
3. 学校は楽しいところである。
楽しさは与えられるものではない。君たち自身が参画し参加する意思と姿勢を持って。学校は君たちを見守る。



(平成27年度)

前期 (4月1日～10月13日)

- | | | | | | |
|--------------------------------------|---------------------|-----------------------------------|--|---------------------|-----------------------------------|
| 4 入学式
前期始業式
宿泊オリエンテーション | 5 遠足
高校総体 | 6 前期進路調査
前期中間考査
球技大会 | 7 人権学習
世界脳週間講演会
保護者懇談会
学校説明会 | 8 SSH生徒研究発表会 | 9 読書感想文コンクール
体育祭
文化祭 |
|--------------------------------------|---------------------|-----------------------------------|--|---------------------|-----------------------------------|

夏休み(7月21日～8月26日) / 1・2年全員学習 / 3年集中補習)



世界で探究 16期生海外研修 2015.3

本校海外研修は探究基礎の授業の一環として行われます。16期生は下記の4つのコースより、普通科・探究科の区別なく、生徒一人ひとりの研修の目的に合わせて希望するコースを選択し、それぞれの研修を作り上げました。異文化に触れ、様々な価値観を知ること、自己理解、他者理解の大切さを学び、「自立」について考える機会にもなりました。



アメリカコース

4コース最多の参加者数101名で実施しました。ワシントンD.C.まではアメリカコース全員で研修をし、その後はオーランドグループ・ボストングループの2つに分かれて研修を行いました。ワシントンD.C.では別別でスミソニアン博物館群を中心にワシントンD.C.市内の研修を行い、オーランドではNASAを訪問し、宇宙飛行士体験や一般のツアーでは体験できないような堀川オリジナルのツアーを体験しました。ボストンでは、MIT・ハーバード大学・現地の高校訪問、ボストン市長表敬訪問など、こちらも堀川独自の特別な体験をすることができ、どちらのグループも充実した9日間を過ごすことができました。



オーストラリアコース

ケアンズとシドニーの2都市を訪問しました。ケアンズではホームステイを経験しました。英語で伝えることに最初は戸惑っていた様子ですが、ステイ先の家族との温かい交流の中で、積極的に英語を使い、実践的な英語力を高めました。また、学校訪問では現地の生徒と交流し、日本の文化を伝えるプレゼンテーションを行いました。さらに、熱帯雨林や動物園、文化施設などを訪問し、現地の自然や文化への理解を深めました。シドニーでは、班別に自分たちで立てた計画にそって街を歩き、シドニータワーや水族館、歴史的な街並みなど、さまざまな場所を訪れました。



ヨーロッパコース

ドイツのベルリンとイギリスのロンドンおよびオックスフォードを訪問しました。ベルリンではザクセンハウゼン強制収容所を訪れ、戦争の恐ろしさや平和について考えを深め、日本国大使館を訪れ外交官のご講演を聞き、世界で活躍される日本人から刺激を受けました。イギリスではオックスフォード大学、大英博物館やBBCを訪れ、オックスフォード大学生や現地高校生と交流しました。班別研修のために事前に自分たちの課題研究に沿った訪問先を話し合い、行程の組立から準備し、現地での研修に取り組みました。交通事情や不測の事態に行程を変更したり、自分のいたいことが伝わらないもどかしさを感じながら、自ら考えて行動できるようになっていきました。



マレーシアコース

ボルネオ島ではキナバル自然公園で現地ガイドによる熱帯の植生について学び、リパークルーズでマングローブ林・ホテルを視察してマレーシアの大自然を体感しました。クアラ Lumpur では、イスラム教を象徴する伝統建築のモスクや、経済発展のシンボルであるツインタワーにマレーシアの大きなエネルギーを感じ、現地で活躍される経済人の方々と交流会や企業訪問で、本当の意味でのグローバルとは何かを学習しました。また、1班5人で行われた班別研修では、外国語を使うコミュニケーションの難しさを体験し、少人数ならではの「個人の質の高さ」が求められる研修を行うことができました。



学校が用意するものは「飛行機」と「宿泊場所」と「安全の半分」です。残りの「安全の半分」と「研修内容」は生徒に委ねられています。

後期 (10月14日～3月31日)

10	前期末考査 前期終業式 後期始業式 創立記念日(10月20日)	11	後期進路調査 保護者懇談会 学校説明会 教育研究大会	12	後期中間考査	1	3年生激励会	2	適応マラソン大会	3	卒業式 学年末考査 1年生海外研修
秋休み(10月8日～13日)			冬休み(12月21日～1月7日) / 1・2年全員学習 / 3年集中補習				春休み(3月21日～4月7日)				

14期生から

人間探究科 軽音楽部
早稲田大学 文化構想学部
京都教育大学附属
京都小中学校出身

文化祭の思い出については、言葉で語り尽くせないというのが本音です。ただ、高3のあの夏はこの先もう二度と訪れないのだということは確かです。そう思えるほど愛おしくかけがえのない時間を過ごしました。たった30分のダンスパフォーマンスのために皆が必死になって構成を考え、セットを組み、練習した日々でした。私はこの文化祭で、自分の幼さ、一つの作品を伝えることの難しさ、そして何より人と向き合うことの大切さを、仲間から教えてもらいました。

これから堀川高校に入学する皆さん。文化祭に興味のある人も、ない人もいるでしょう。それでいいと思います。ただ、私にとっての文化祭のように、一度きりしか訪れない何かはきっとあります。皆さんがそんな大切な何かに出会えることを祈っています。

普通科Ⅱ類 吹奏楽部
熊本大学 医学部
保健学科看護学専攻
京都市立双ヶ丘中学校出身

研修旅行って楽しそう！
そんな単純な思いで私は研修旅行委員会に入り、そして責任と覚悟を持ってオーストラリアコース長を務めました。
研修旅行は、研修の目的や行先などすべて自分たちで決定します。私がリーダーとなって心がけていたことは、目的を全員が意識するようにするという事です。例えば、オーストラリアコースの目的の一つである英語能力の向上のために、英語でのプレゼンテーションを現地の学生相手に行うのですが、練習の時に1人ひとりをコースの全員で評価する、ということを実行して行いました。

委員を中心にがんばった研修旅行は成功し、たくさんのことを学ぶことができました。
リーダーとして心がけたことは、部活の部長をしていたときにも、日々の学習やその他の活動にも生かされています。
堀川高校は、このように多くのことを学べるチャンスがたくさんあります。みなさんもそのチャンスを自分でつかみ、明日にはばたきませんか？



必要経費 (平成27年度1年生)

入学金	5,650円
授業料 (就学支援金制度あり)	118,800円
PTA会費・振興会費	10,000円
その他諸費	約50,000円
制服代	約50,000円
教科書・体育用品	約50,000円
海外研修費用 (研修先によってこととなります。)	約200,000円～ 300,000円

※その他模擬試験代金等が必要となります。

ひとつになる, 高みをめざす, ひとりになる

堀川高校の生徒会活動・部活動

生徒会は、文化祭や体育祭、球技大会等、高校生活に欠かせないさまざまな学校行事の企画立案と運営を担う、生徒の自主活動組織です。執行部と各ホームルームの委員を軸に多くの取組を進めています。

部活動への加入率は80%以上です。50分7時限（16時10分終了）の授業の後、広沢池近くの堀川高校嵯峨野グラウンドで活動する部もあり、各部とも限られた条件の下でさまざまな工夫をし、目標と意志を明確に持って活動しています。

14期生から

自然探究科 生徒会執行部・放送局
東京大学 教養学部理科二類
京都市立近衛中学校出身

堀川高校の生徒会執行部は主に文化祭や体育祭の運営を行います。全校生徒を動かすのです。これは、とにかくワクワクします。

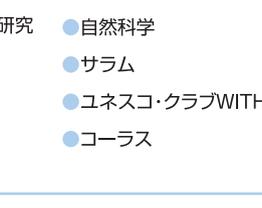
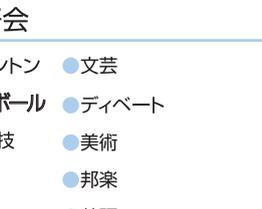
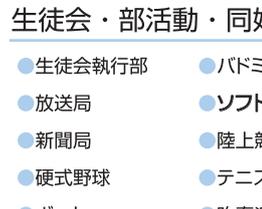
新たな企画を考える際、全校生徒の皆さんが楽しんでいる様子を想像すると、とてもワクワクします。もちろん、たくさんの壁にぶつかります。部員同士で意見が対立することもあります。ですが、堀川高校の生徒会執行部には、これまでたくさん議論を重ねてきた信頼できる仲間がいます。信頼できる仲間と目の前の壁に立ち向かっていくことに、とにかくワクワクするのです。ワクワクしながら準備した文化祭や体育祭。実際に運営を成し遂げたときの達成感、言葉ではとても言い表せません。そして、同時に、次の企画に向かってワクワクするのです。

私は堀川高校での生徒会活動を通して、ワクワクさせること、ワクワクすることを学びました。壁にぶつかったときにワクワクできるようになりました。自分がワクワクすること。人をワクワクさせること。みなさんも何かに挑戦し、全身でこのワクワク感を味わってほしいと思います。ほら、ワクワクしてきたでしょう？

人間探究科 サッカー部
筑波大学 社会国際学群
国際総合学類
京都市立旭丘中学校出身

私はサッカー部のキャプテンとしてチームを率いていました。そのなかで、キャプテンとしてどのような試合でも最後の最後まで声を出し続ける「情熱」と、最後まであきらめない「粘り強さ」を身に付けることができました。また、部活で身に付けた力があつたからこそ、受験勉強において最後まであきらめずに闘い続けることができました。

勉強のみにとらわれず、部活にも取り組み「二兎を追う」ことによって、今後の生活で大切になってくることを得られたと思います。



生徒会・部活動・同好会

- 生徒会執行部
- バドミントン
- 文芸
- 放送局
- ソフトボール
- ディベート
- 新聞局
- 陸上競技
- 美術
- 硬式野球
- テニス
- 邦楽
- ボート
- 吹奏楽
- 英語
- サッカー
- 電算機研究
- 自然科学
- 剣道
- 軽音楽
- サラム
- バスケットボール
- 食物
- ユネスコ・クラブWITH
- 山岳
- 茶道
- コーラス
- バレーボール
- 演劇

母校の刻んできた百年の重みを真摯に受けとめ、第二世紀に向けて歩みを進める私たちは、さわやかにいきいきと、豊かに生きる指針として、堀川高等学校憲章を制定します。

○ 私たちは、多様な存在や価値を大切に、時間と力を重ねて、ひとつになることをめざします。

○ 私たちは、よりよいものを創出することを求め、困難に立ち向かい、工夫を重ねて、一層の高みに向かうことをめざします。

○ 私たちは、誇り高く生きることを願い、自己を見つめ、力を蓄えて、自覚したひとりになることをめざします。

二〇〇八年十月二十日
京都市立堀川高等学校生徒会

京都市立堀川高等学校憲章

堀川高校での三年間は探究活動や海外研修など独自の活動が目白押しで、それだけで「お腹がいっぱい」になります。しかし、堀高生は二兎を追う生き物。独自の活動に加えて、みんなで団結して熱くなる生徒会行事で、爽やかかつ甘酸っぱい、良い意味での「ベタな青春」も追い求めようではありませんか。生徒会の三大行事は球技大会、文化祭、体育祭です。なかでも文化祭は何か月も前から準備を始め、堀高生全員の力を結集し創りあげていきます。その過程、そして当日の熱気や熱狂は皆さんに惜しみなく「ああ、僕・私、青春してるわ～」という感覚を与えてくれるでしょう。生徒会執行部は生徒会の代表として、その生徒会行事の企画・運営を行っています。

僕は執行部員として堀高生の青春の後押しをしていることにとってもやりがいを感じています。皆さんも生徒会活動や執行部の活動を通して、堀川高校での青春を味わってみませんか？

生徒会長 宮川 哲正

学びの3年間を支える

土曜ステップアップデイ

毎週土曜日をSUD（ステップアップデイ）と位置付け、さまざまな取組を通して生徒の探究能力・自己管理能力を向上させるとともに、進路実現に向けた学習活動を支援します。

■本物に触れる機会 ～コミュニティカレッジ～

コミュニティカレッジ（コミカレ）では、生徒・保護者・教員・市民が共に学べる機会を提供します。大学教授や専門機関の研究者などによる「コミカレ講演会」や、本校教職員や保護者・市民の方が講師となる「コミカレ講座」など、学ぶ楽しさを通して交流する場を企画します。

また、「コミカレ講演会」は探究講演会として位置付け、探究活動の一環として事前学習や当日の運営などを生徒主体の委員会が担当します。



■昨年度のコミカレ講演会・講座一覧（肩書きは当時のものです。）

世界脳週間講演会『ようこそ脳科学の最先端へ』

「脳の中の飴と鞭」 島田 昌一氏（大阪大学大学院医学研究科教授）

「弱いは強い？」 鷲田 清一氏（大谷大学文学部教授）

「世界で唯一のものづくり技術 ～不可能を可能にする技術～」

二九 良三氏（二九精密機械工業株式会社 代表取締役）

「不得手に挑戦してみよう」 秋山 仁氏（数学者）

文学歳時記 「琵琶を弾く明石の君」

ブリザーブドフラワーアレンジメント

天体観望会



■探究基礎研究発表会

「探究基礎」では、同じ学年の生徒や後輩に自分の研究成果を発表する機会があります。こうした生徒同士で相互評価する経験を通して、プレゼンテーション能力、正当な批判力・判断力、そして質問力を向上させます。さらに、評価を謙虚に受けとめ、次のステップへの土台とし、よりレベルの高い研究成果を目指します。個人研究の中間発表として行われる「探究基礎研究発表会」では、大学の先生や専門の研究者からも評価を受けることがあります。



■土曜テスト・模擬試験

日常の授業の定着を図るため、年間5～7回程度の「土曜テスト」を実施しています。また、1・2年生は年間約7回の模擬試験を受験しています。3年生は希望進路により異なりますが、10回から15回程度の模擬試験を受験しています。模擬試験の結果により個々の学習の定着度と全国的な状況を確認し、合格に必要な総合力の把握、弱点分野の明確化と対策に努め、生徒や保護者に還元しています。



■土曜PST

PST（パーソナルスタディタイム）では、自習室等で自分のペースにあわせて静かにじっくりと学習できます。

確かな学力から最高水準の実現へ

学びの3年間

最高水準を目指した教育課程を編成し、シラバス（学習内容案内）に基づいた良質・高度な授業を展開しています。予習・授業・復習の繰り返しを徹底、課題テストや土曜テストによる確認、再テストや個別指導などによるきめ細かな指導により、学力の定着を図ります。

■普通科 人文探究コース／理数探究コース

■人間探究科

■自然探究科

■教育課程（略表）（科目名は略称の場合があります）

1年生 共通	国語総合 ⑥				世界史 ②		数学Ⅰ ④			数学A ③		化学基礎 ②
2年生 人文探究コース 人間探究科	現代文 ②		古典 ③		文科基礎 教養 ①	世界史 日本史 地理 ③		世界史 日本史 地理 ③		現代社会 ②		数学Ⅱ ④
2年生 理数探究コース 自然探究科	現代文 ②		古典 ②		日本史 地理 ③		現代社会 ②		数学Ⅱ ④		数学B ②	物理基礎 生物基礎 地学基礎 ②
3年生 人文探究コース 人間探究科	現代文 ②		古典 ③		国語演習 ②	世界史 日本史 地理 倫理＋政治経済 ④		世界史 日本史 地理 公民演習 ④		地歴演習 ①	数学演習 ⑤	
3年生 理数探究コース 自然探究科	現代文 ②		古典 ③		国語演習 ①	日本史演習 地理演習 公民演習 ③		数学Ⅲ ⑦				化学 ③

※ [] 部分は自由履修単位。

■質の高い授業の展開

- 生徒の主体的な学習活動を支援するために先進的な授業研究を行っています（京都市教育委員会による教育センター機能研究指定）。
- これまでの教科・科目の枠をこえた総合的な科目の設置、フィールドワーク、大学の研究者や社会人講師の導入、最新の教育機器の活用など、ソフト・ハード両面から一人ひとりの学習をサポートします。
- 学問の奥深さに触れることのできる魅力ある授業、夢の実現に向けた高度な授業を展開します。
- 理解度に応じた個別対応や少人数講座の開講など、きめ細かく指導します。

■全員学習・補習

- 1・2年生では、国語・数学・英語の3教科を基本に、夏休みに10日間、冬休みに5日間の全員学習を実施しています。
- 3年生では、国語・地歴公民・数学・理科・英語の各教科において、放課後や夏休み・冬休みに進路目標に応じてさまざまな補習講座を開講し、学力向上・進路実現を目指しています。

保健 ①	体育 ②		芸術 ②		コミュニケーション英語Ⅰ ④		コア・イングリッシュ ③		家庭基礎 ②		社会と情報 ②	探究基礎Ⅰ ②	LHR ①	
	数学B ②		生物基礎 ②		地学基礎 ②		保健 ①	体育 ②		コミュニケーション英語Ⅱ ④		ライティング スキルズⅠ ②	探究基礎Ⅱ ②	LHR ①
物理基礎 生物基礎 ②	物理 生物 ②		化学 ④				保健 ①	体育 ②		コミュニケーション英語Ⅱ ③		ライティング スキルズⅠ ②	探究基礎Ⅱ ②	LHR ①
			化学演習 生物演習 地学演習 ②		化学演習 生物演習 地学演習 ②		体育 ③			リーディングスキル ④		ライティング スキルズⅡ ②	LHR ①	
		物理 生物 ⑥					体育 ③			リーディングスキル ④		ライティング スキルズⅡ ②	LHR ①	

1年生の時間割例
(普通科・人間探究科・自然探究科共通)

月	火	水	木	金	土
1	数学Ⅰ	体育	コミュニケーション英語Ⅰ	化学基礎	数学A
2	国語総合	体育	数学A	数学Ⅰ	世界史
3	家庭基礎	数学Ⅰ	探究基礎Ⅰ	芸術	LHR
4	家庭基礎	化学基礎	探究基礎Ⅰ	芸術	国語総合
5	保健	コア・イングリッシュ	コア・イングリッシュ	世界史	コミュニケーション英語Ⅰ
6	コミュニケーション英語Ⅰ	国語総合	数学Ⅰ	国語総合	コミュニケーション英語Ⅰ
7	社会と情報	数学A	国語総合	コア・イングリッシュ	国語総合

3年生の時間割例
(PSTを選択して国公立大学文系をめざすAさんの場合)

月	火	水	木	金	土
1	世界史	世界史	体育	リーディングスキル	数学演習
2	リーディングスキル	ライティングスキルⅡ	国語演習	地学演習	リーディングスキル
3	生物演習	古典	地理	地理	LHR
4	PST	現代文	地理	ライティングスキルⅡ	世界史
5	古典	地学演習	現代文	世界史	国語演習
6	数学演習	数学演習	リーディングスキル	古典	体育
7	地理	数学演習	生物演習	数学演習	体育

3年生の時間割例
(国公立大学理系をめざして最大限の科目選択をしたBさんの場合)

月	火	水	木	金	土
1	数学Ⅲ	古典	リーディングスキル	数学Ⅲ	リーディングスキル
2	数学Ⅲ	化学	数学Ⅲ	数学Ⅲ	体育
3	国語演習	物理	古典	現代文	LHR
4	ライティングスキルⅡ	ライティングスキルⅡ	地理演習	古典	数学Ⅲ
5	化学	数学Ⅲ	物理	物理	物理
6	物理	体育	化学	リーディングスキル	地理演習
7	物理	体育	現代文	リーディングスキル	地理演習



夢の実現に向かって

未来は自分で選ぶ

進路を考える。それは一回限りの人生をどのように生きるかについて考えることです。自分の未来をどのようにつくっていくか、どう自己実現を図るかを生徒に問いかけること、そして生徒の夢の実現に向けて支援すること、この二つが堀川高校の進路指導の根幹です。

進路を考えることは自己実現を図ることであるとともに、他者・社会との関わりを考えることでもあります。卒業後の進路という「近い未来」と、その先に続いていく「遠い未来」と、その両方を見つめてほしいと考えています。

■平成27年度入試結果および就職状況 平成26年度卒業生（14期生）250名 平成27年度入試結果（ ）付き数字は内数を表す

■国立四年制大学	学部	平成27年度入試						
		I類	II類	人間	自然	現役計	過年度	合計
北海道大			1	2	2	5	2	7
東北大	医 医			1	1	1		1
筑波大				1	1	2		2
埼玉大						1		1
東京大				2	3	5	3	8
	文科一類			(1)		(1)	(1)	(2)
	文科三類			(1)		(1)		(1)
	理科一類				(2)	(2)	(1)	(3)
	理科二類			(1)	(1)	(1)	(1)	(2)
東京工業大						1		1
横浜国立大				1	1	1		2
福井大				1	1	1		1
信州大						2		2
浜松医大	医 医					1		1
名古屋大				1	1	1		2
滋賀大			1		1	1		2
滋賀医大	医 医			2	2	1		3
京都市		2	14	16	32	20	52	52
	文	(1)	(6)		(7)	(1)	(8)	(8)
	法		(3)		(3)	(2)	(5)	(5)
	経済		(3)	(1)	(4)	(2)	(6)	(6)
	教育		(1)		(1)		(1)	(1)
	総合人間		(1)		(1)		(1)	(1)
	理			(3)	(3)	(1)	(4)	(4)
	工	(1)		(6)	(7)	(12)	(19)	(19)
	医 人間/看護学			(1)	(1)		(1)	(1)
	医 人間/作業療			(1)	(1)		(1)	(1)
	薬					(1)	(1)	(1)
	農			(4)	(4)	(1)	(5)	(5)
京都教育大				2	1	3		3
京都工芸繊維大		1		4	5	4		9
大阪大			2	5	4	11	11	22
	文	(1)	(1)		(2)	(1)	(3)	(3)
	外国語		(1)	(1)	(1)	(2)	(3)	(3)
	法		(2)		(2)	(3)	(5)	(5)
	経済		(1)		(1)	(1)	(2)	(2)
	工			(3)	(3)	(1)	(4)	(4)
	基礎工	(1)			(1)	(1)	(2)	(2)
	歯			(1)	(1)		(1)	(1)
	薬					(1)	(1)	(1)
大阪教育大		1			1			1
神戸大			4	5	7	16	7	23
	文		(2)		(2)		(1)	(1)
	法					(1)	(1)	(1)
	経済	(1)			(1)		(1)	(1)
	経営		(1)		(1)	(1)	(2)	(2)
	国際文化		(1)		(1)		(1)	(1)
	発達科学	(1)	(1)		(2)		(2)	(2)
	理	(1)			(1)	(1)	(2)	(2)
	工			(4)	(4)	(1)	(5)	(5)
	海事科学					(1)	(1)	(1)
	医 医				(1)	(1)		(1)
	医 保健/理学療					(1)	(1)	(1)
	農	(1)		(2)	(3)	(1)	(4)	(4)
奈良女子大				1	1			1
岡山大			2		2	1	3	3
広島大			1		1		1	1
高知大	医 医			1	1		1	1
九州大				1	1	1	2	2
熊本大			1		1		1	1
計		1	14	33	46	94	58	152

■私立四年制大学	平成27年度入試						
	I類	II類	人間	自然	現役計	過年度	合計
獨協大						1	1
青山学院大						1	1
慶応大			2		2	6	8
国際基督教大						1	1
芝浦工大				2	2		2
上智大						2	2
成城大						1	1
中央大						14	14
東京理大				1	1	4	5
明治大			1		1	1	2
立教大						1	1
早稲田大	2		4		6	10	16
豊田工大						1	1
大谷大			1		1		1
京都学園大		1			1		1
京都産業大	1	1	1	3	6	8	14
京都女子大	1	1	1		3		3
京都橋大	3				3		3
京都薬大		1		2	3	4	7
京都光華女子大	2				2		2
同志社大	5	15	25	4	49	48	97
佛教大	4	2	1	3	10		10
立命館大	8	13	16	13	50	43	93
龍谷大	2	4	1	1	8	5	13
京都文教大	1				1		1
京都看護大	1				1		1
大阪医大		1		2	3		3
	医 医			(2)	(2)		(2)
大阪工大						1	1
大阪国際大	1				1		1
大阪薬大		1			1	1	2
関西大	1	5	7	1	14	9	23
関西医大	医 医			1	1	1	2
関西外大		4	2		6		6
近畿大				1	1	3	4
	医 医			(1)	(1)		(1)
摂南大				1	1		1
大和大						2	2
関西学院大	4	3	3	1	11	6	17
甲南大		1			1		1
神戸学院大						3	3
神戸薬大						2	2
武庫川女子大						1	1
関西国際大	1				1		1
帝塚山大	1				1		1
奈良大	1				1		1
産業医大	医 医					2	2
計	39	53	65	36	193	182	375

■公立四年制大学	学部	平成27年度入試						
		I類	II類	人間	自然	現役計	過年度	合計
岐阜薬大						1		1
滋賀県立大		2	1		3			3
京都府立大		2		1	3	1	4	4
京都府立医大	医 医			3	3	1	4	4
大阪市立大		1			1		1	1
大阪府立大				2	2	8	10	10
兵庫県立大						1	1	1
神戸市外大			1		1		1	1
和歌山県立医大	医 医					1	1	1
名桜大						1	1	1
計		5	2	6	13	14	27	27

■専門学校	平成27年度入試						
	I類	II類	人間	自然	現役計	過年度	合計
専門学校HAL大阪	1				1		1
大原スポーツ&メディカル専門学校	1				1		1
YIC京都ビューティ専門学校	1				1		1
キャリアールホテル旅行専門学校		1			1		1
名張市立看護専門学校	1				1		1
計	4	1			5		5

■大学校	平成27年度入試						
	I類	II類	人間	自然	現役計	過年度	合計
防衛大学校						1	1
計						1	1

堀川から「世界」へ

HORIKAWA for the World

渚にて

来島 宣礼

みぎわでは

雲が影を描き

風と波が光を揺らし

流れる砂が指先をなでる

とりどりのバケツが

海をすくいひっくり返す

近づき遠のき

たわむれる声

ポセイドンのスプーンで

世界中の海をかき回して

もっ一度すくってみたら

もとの水はどれだけ入ってる？

宇宙の孤独を歌い

くしゃみをした詩人は

無限の空間と極限の微細の絶対値が同じだから

海がまぶしく手をかざす

太陽は南中し

水平線は横たわり

輝きの中で

地球の子ともたちがかけまわる



